

（主な意見・質問）

（問）現在、旧双岩中の生徒はスクールバスを利用しているが、双岩小の児童の送迎はどのようになるのか。

（答）小学校の送迎については、きめ細やかに行きたいと考えている。例えば、釜倉地区の場合、乗降場所を集会所にするのか。それとも、さらに奥の方に行くかは、子どもがどこに住んでいるかによっても変わってくるが、子どもたちの安全第一を考えて乗降場所を選定したいと考えている。通学方法については、マイクロバスやジャンボタクシー、小型タクシーなど子どもたちの人数を見ながら決めていく。

また、帰りについては、双岩地区には自主運営の児童クラブがあるので、下校時の帰宅経路を公民館経由にできればと考えている。川上地区公民館にも自主運営型の児童クラブが設置されたが、統合後もそのまま継続してほしいという意見があったので、子育て支援課とも協議し、そのような要望があれば市が補助して継続していくことを考えている。

（意見）統合した場合、神山小の駐車場の狭さが気になる。

（答）神山小の駐車場は、教員の車で満車になるほど狭いので、参観日など保護者が集まる場合は、学校のグラウンドに駐車することになると思う。

また、スクールバスの乗降場所については、旧神山幼稚園の園庭を改修して、ロータリー式の乗降場所にできないか考えている。

（問）運動会など全校生徒の保護者が集まる時には、神山小近くの駐車場を借りたりはしていないのか。

（答）八代中の場合は、校区が広いので、学校近くのルミエールさんや八幡浜工業高校など近隣で空き地のあるところを探して許可をもらい、駐車場を確保したことがある。その時は、保護者の方に駐車券を発行し、なるべく遠方に住んでいる方を優先に近いところへ駐車できるよう配慮したことがある。双岩小、川上小、神山小の3校の統合になると、同様に駐車場の確保が必要になるので、どれだけ確保できるかは分からないが、学校側も対策していくものと思う。

（問）神山小の保護者と話をした時に、その保護者は、統合した時に自分の子どもがまだ在校生だということを知らなかったようで、統合に対する関心が薄いように思った。神山小の1回目の説明会は、参加者が少なく、意見も少なかったように思うが、神山地区の保護者や地域住民は、統合に関してどの程度の認識を持っているのか。

（答）神山小の参加者が少なかった理由としては、自分たちの子どもが通っている学校の場所は統合後も変わらないので、通学支援等についての質問がなかったことがあげられる。ただ、神山小の保護者からは、「子どもたちの意見を、どう新しい学校作りに活かしていくのか。」などの意見をいただいている。保護者1人1人の意識が高いか低いかは判断できないが、保護者説明会での意見・質問を取りまとめて、全ての保護者に周知しており、市のホームページにも公表している。今後は、保護者説明会から地域説明会に移行するので、その時には様々な意見や質問が出されると思う。

また、昨年度に生まれた子どもの数が約130人と説明したが、調査する年ごとにその人数が減っている。直近の人数は125人となっており、12の小学校で単純に割ったら1校あたり1学年10

人ぐらいとなる。それだけ子どもの数が減っている状況なので、現在の神山小の校区や公民館のエリアではなく、市全体の大きなエリアで考えていく必要がある。学校が統合しても、子どもたちは地域に帰ってくるので、子どもたちと地域の繋がりを継続していくためにも各地区公民館の存在は大事になると思う。

(問) 統合により、校歌が新しくなると思うが、校歌を作成するのにどのくらいの期間が必要なのか。新しい学校となった最初の入学式で新しい校歌が歌えるのか心配である。

(答) 中学校の統合の話になるが、先日行った統合準備委員会の作業部会に八幡浜市にゆかりのある音楽家に作詞作曲を依頼したいと提案したところ承認されたので、1月30日開催の第2回統合準備委員会に提案する予定である。そこで承認されたら、早速手続を進めて、今年の夏ぐらいまでには校歌が完成できればと考えている。来年度は、生徒間交流の期間となるので、校歌が完成した時点で、各校で練習し、できれば3校の生徒が集まり音楽集会等を開き、在校生が新しい校歌を歌えるようにしたいと考えている。小学校については、具体的には決まっていないが、そのような方向性をもって進めていければと考えている。

(意見) 私は、神山小に一度も行ったことがないので、どこが正門なのか。教室がどこにあるのか全く分からない。そういう人も多いと思うので、事前に神山小の見学ができるような機会を作ってほしい。

(答) 八幡浜市の場合は、中学校区ごとに小中が連携して、ブロック別研究が行われている。八代ブロックの場合は、小学校が多いので、毎年実施しているわけではないが、神山小と川上小、神山小と双岩小が交流授業をしていると思う。例えば、その時に保護者が参加することができれば、子どもたちの交流の様子も見ることもできるし、さらに別の教室や校舎を案内する機会を設ければ、学校全体を知ることができると思うので、今後、検討していきたいと思う。

(問) 神山小には、ひな祭り音楽会があるが、統合後はどうなるのか。

(答) 小学校3校とも学芸会または学習発表会を行っているが、学校ごとに特徴があり、神山小には、ひな祭り音楽会がある。川上小には、地域行事である子ども神楽があり、小学5～6年生が総合的な学習の中で、地域の方からお神楽を習い、年に3回ほど、敬老会や児童集会、公民館の文化祭などで発表している。ただ、統合後は学校行事として活動することは難しいので、川上地区の子どもたちが課外活動として、地域の方と練習・稽古を積み上げて、柱松や公民館の行事等で披露するなど残して行ってほしいと思っている。双岩地区にも若山唐獅子があるので、例えば、1年ごとに新たな学校で若山の唐獅子を見せたり、川名津神楽を子どもたちが演じたり、そういう場があっても良いと思う。

また、中学校に関して言えば、中間テストを実施している学校と実施していない学校がある。年間3回の期末テストのみの学校もあれば、1学期と2学期は中間テストと期末テスト、3学期は期末テストの計5回テストを実施している学校もある。この前も教務主任が集まり、学校ごとの特色ある行事や定期テストの回数の違いなどについての意見交換を行っている。学習発表会や学芸会については、中学校の中間期末テストと同じで、学校の統合が進めば、3校で話し合いながら何を残し、何を作っていくかということも1年間かけて決めていくものと考えている。